

地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）整備方針

平成18年4月1日

対象事業	市町村合併に伴う市内の生活交流の強化	対象地域	総社市				
		対象事業No.	12				
対象事業の目的							
<p>新総社市では新市建設計画により、将来都市像として「地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市」を掲げており、この将来ビジョンを実現するため、「共生」「交流」「文化」の3つの大きな柱に基づいて、新市のまちづくりを進めている。</p> <p>合併後の総社市の課題は、市内の渋滞箇所や事故危険箇所を解消し、旧市村間(総社市、山手村、清音村)の一体的交流を醸成することです。</p> <p>また、新市を東西南北に区分した地域別の基本方針により、高梁川東側の新市の南部地域(旧総社市の市街地を中心とした区域と旧清音村の区域)は、「魅力ある交流機能を持つアメニティのまち」を目指しているが、公的機関、商業施設等と住宅地が混在し、交通が錯綜しているため、道路の安全性に配慮した生活環境をつくることが課題となっている。</p> <p>これらの課題に対応するため、3つの柱の1つである「交流」～元気を生み出すまちづくり～の中にある「旧市村間の交流促進」、「安全で快適な都市環境の形成」に基づいて、市の南東部を南北に通る国道429号から高梁川左岸の国道486号に至る街路事業で整備した東総社中原本線を延伸し、高梁川架橋による旧市村間の交流性を促進します。これにより新市としての一体感を醸成していくと共に、総社大橋の渋滞の解消、事故危険箇所の解消を進めていきます。</p> <p>また、市の南部地域については、まちづくり交付金事業(清音駅東口地区)と併せて一体的に実施することにより、賑わいを提供すると共に安全性に配慮したアメニティの高い住環境づくりを進めていきます。</p>							
対象事業の効果							
<p>清音神在本線整備：新総社大橋を整備し、旧市村間の人や物の安全・円滑な交流の強化が図られる。</p> <p>軽部南北本線外整備：アメニティの高い生活環境づくりを進めるため、コミュニティ道路を整備し人や物の安全・円滑な交流の強化が図られる。</p>							
対象事業の成果目標 (アウトカム指標)		人や物が安全・円滑に流れることの支障となっている箇所の解消(箇所)				費用 便益比 (B/C)	
アウトカム指標の定義 及び算定式	他事業(街路事業、まちづくり交付金事業)と関連して、一体的なまちづくりを進めていく上で、人や物の安全・円滑な流れの支障となっている箇所(箇所)	アウトカム指標の 現況値及び目標値	番号	当初現況値	中間目標値		長期目標値
				2	-	1	3.3